各党　御中

「政権交代を実現するための要望」

１０月２７日の裏ガネ解散総選挙では、自公の失点により、野党が全体として衆議院議員の過半数を獲得することができました。

高物価、低賃金にあえぐ国民を犠牲にして、自分たちだけが大企業と税金から多額のカネをせしめる、という自公の政治に対し、国民がハッキリと「ノー」をつきつけたのです。

いわば、自公のオウンゴールによって、今回の総選挙は野党が勝ったものです。

その功績は「しんぶん赤旗」で数々の自公の悪を暴き出した共産党と、野党を勝利させるために、自分の主張を抑えて当選の可能性のある野党議員に票を集中する、という有権者の勇気ある投票行動に帰せられます。

ところが、驚くべきことに、選挙で大敗した自公が、なおかつ政権を運営する考えでいることです。

今回の選挙は、明らかに反国民的な政治を強行する自公が引き起こした裏ガネ問題をめぐり、自公政権の信任を問うものでした。

そして、総選挙の結果、自公による政権運営を認めないことが、国民の意思として示されたのです。

しかるに自公は、依然として自分たちが政権を担当すべきものと決めつけて、醜い多数派工作を続けています。

本来であれば、自公は、潔く野に下って数年間謹慎した上で、まともな政党に生まれ変わって出直すべきところなのに、図々しくも引き続き政権の座を守ろう、というのは、いかに自公にとって政権の座が、経済的にも旨みのあるものであるかを如実に物語っています。

このように、あくまでも傲岸で破廉恥な行動を自公に許していることについては、野党にも重大な責任があります。

国民の選挙で、勝てば政権を担い、負ければ政権を譲り渡す、というのは民主主義のイロハです。

各党の政策が一致しなければ政権はとれない、などというのは、まったくもって無責任なことです。

事実、長年にわたり、政権を共有してきた自公など、思想も政策も水と油です。

政策が完全に一致しなければ政権を共有できない、と言うのであれば、永久に連立政権など不可能です。

今回の選挙の主たる争点が、政治とカネの問題であった以上、その問題だけに特化して連立政権を樹立することも可能です。

・裏ガネ問題の全容を調査し解明する

・その上で刑事罰を与えるべき者は訴追する

・政治資金規正法を抜本改正し、２度と違法な蓄財を許さない

・安倍政権下での森友・加計、桜を見る会問題の再調査、処分

少なくとも、これだけの課題を共通の政策として野党が一致して政権を担当することができるし、それだけでも、数年間は必要となるでしょう。

いずれにせよ、選挙によって敗北し、国民から断罪された自公に、このまま政権を担当させることは絶対に認められません。

もし、自公の政権延命に手を貸し、または、野党の連合政権に異を唱える政党があるとしたら、それは「野党」の皮を被った自公の別動隊とみなさざるを得ません。

以上の次第で、貴党におかれては、万難を排して野党連合による政権交代を成し遂げ、大多数の国民の心からの願いにこたえて頂くよう強く要望します。

私たち市民も、引き続き安倍的政治、自公的政治を終らせるための運動に邁進することをお約束します。

２０２４年１０月

〒171-0021 東京都豊島区西池袋１－２９－５
山の手ビル１１階　伊東章法律事務所内
電話 03-5391-6715　FAX03-5391-6440
https://seikenkoutai.com info@seikenkoutai.com
「政権交代を実現する会」
代表　伊　東　　章